

宮城県の体育館でカットやシャンプー カットボランティアチーム“スマイル100” ～セリオ(株)～



第2班メンバー

岡崎を中心に8店舗を手がけるセリオ(株)では、2007年に新潟で発生した中越沖地震の際にスタッフ全員で結成したカットボランティアチーム“スマイル100”を再結成。2班に分かれ、6月27日、7月3日の2日間、宮城県南三陸町でカット、シャンプーのボランティア活動に取り組みました。



前回のボランティアで“たった1日の活動で自己満足に終わっていかなかったか”という疑問を払拭できないメンバーもあったものの、今回の震災で再結成。「自分たちにできることをやろう」と心が固まり、新たなシャンプー一台「夢」の制作から今回の活動がスタートしたそ

です。
被災から数ヶ月、地元はもとより全国から既にカットボランティアのため現地で活動している人もみえる中ではあったものの、避難所に出向き活動してみえる知り合いからの紹介で今回の取組みが実現。

現地につくと瓦礫の山で家の基礎さえもない声もでない状況で、異様なまでの静けさ。不安を抱えつつ会場の中学校に着くと、「待ってたよ、早く切って」と多くの方に明るく迎えていただき、その明るさに不安も消え、早速用意したガスボンベと寸胴それぞれ2セットで湯を沸かし、シャンプーとカットをスタート。涙を流しながら喜んでいただける方も見え、美容師をしてきて本当によかったと心から感じた瞬間だった。

「実際現地で活動する中で、明るく助けあって生きている現地の皆さんと接し、それぞれが多くのことを感じてきました。どこにいても自分達のできることを精一杯やっていくことが被災地の復興につながると信じて目の前のお客様に接していくたらと思っています。」

新入会員ご紹介

ご加入いただきありがとうございました。 ①代表者名・②住所・③電話・④営業内容
今後も順次ご紹介させていただきます。(順不同・敬称略)

五万石トレーディング(株)

- ①伊豫田裕保 ②真福寺町
- ③45-8211
- ④家具の卸・小売業

香村建築設計

- ①香村直康 ②康生町
- ③24-7403
- ④大工工事

(有)かんや(さん太羽根店)

- ①神谷知秀 ②羽根町
- ③57-9966
- ④洋食(オムライス&カレー)
ここでしか味わえないオムライス&カレーの専門店。「とろ~り卵のオムライス」が大人気!

(有)中部エンザイム

- ①加藤 徳 ②中伊町
- ③85-7051
- ④酵素の研究・製造

さとう税理士事務所

- ①佐藤大祐 ②名古屋市
- ③052-800-2112
- ④入力の代行、決算書・申告書の作成ほか。
貴社の問題に素早く着手! さとう税理士事務所は、フットワークの軽さが自慢です。

デジタルバンクジャパン(株)

- ①林 成徳 ②豊川市
- ③0533-65-7171
- ④教育・販促事業、学習塾、中国語翻訳・研修、
自律教育および販促支援事業。前者は学習塾TERAKOYAの運営や中國語企業研修。後者は対中事業の中国語を介したコンサルティング。

(株)四季(四季パン工房)

- ①大宮龍彦 ②八帖町
- ③66-1112
- ④パンの製造、販売
手作りで安心、安全を考えた雜穀パン・米パンの製造・販売をしております。皆様に喜ばれる商品作りを目指しております。

(株)サンワーク

- ①佐藤正弘 ②城南町
- ③54-7515
- ④障害者福祉サービス業

職場と人の幸せづくり研究所

- ①川島 豊 ②緑丘
- ③53-0758
- ④社長代行の「職場と人の幸せづくり」研修
社長から新人まで、持てる力を發揮し、「明るく元気な会社づくり」をお手伝いします。

岡崎たばこ販売(協)

- ①金澤伸宜 ②久後崎町
- ③22-4678
- ④たばこ販売組合

(株)福田石油店

- ①福田賢太郎 ②西尾市
- ③0563-62-3181
- ④石油製品販売
お車のコンビニエンスストア、ガソリンも売っています!

ティエスティ

- ①田中かの子 ②岩津町
- ③45-3887
- ④梱包請負

被災地に夏のひとときを 宮城県で花火教室開催 ～愛知県煙火組合有志～

(株)太田煙火製造所、(株)阿知波花火店、
(株)鈴木花火、保田紙工(株)、(株)稻徳煙火製造所

「花火を通じてほんのひとときでも楽しいひとときを感じていただけたら・・・それだけの思いで職人としてできることをしてきました。」(太田社長)



愛知県煙火組合に所属する(株)太田煙火製造所の太田氏を中心とする有志5社が8月18日(木)、宮城県亘理町で子どもらに安全な花火の使い方を説明する「花火教室」を開催しました。

亘理町は岡崎市消防本部が震災発生直後から救援活動を行ってきた地域。羽根消防団副団長を務める太田煙火製造所の太田氏が、被災地での活動報告会で現地の消防の皆さんのが日常の業務ができない状況を知り、もし迷惑でなければ、煙火組合として毎年花火を提供している花火教室(消防本部主催)の被災地での開催についてお手伝いさせてもらえたと申し出たことがきっかけ。

今回会場となった亘理町は海沿いの町ではあったものの、住宅地は

比較的海岸から離れており、震災後には仮設住宅が建設され、既に50世帯程が暮らしている状況。地元の人たちと避難してきた人たちとの交流の機会としてぜひ開催してほしいと即答いただいたそうです。

煙火組合所属企業のそれぞれの特長的な三河の花火を中心に、20種類(約10kg)を積み込み9時間かけて会場となる吉田小学校近くの仮設住宅へ到着後午後6時から

開催した花火教室には、約120名の方が集まり、いろいろな花火を楽しむとともに、現地の佐藤煙火(岩沼市)さんの協力で本格的な花火大会も行われ、被災地に夏の穏やかなひとときが訪れたそう。

「花火を安全に楽しんでいただけたための機会としての開催でしたが、皆さんに明るいひとときを感じていただけたら、大変嬉しく思います。」